

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	システム工学特別実験第二		
英文授業科目名	Advanced Laboratory of System Engineering 2		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法	実験	単位数	6
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主題： 自らが推進する研究テーマの解決を目指して、存在する諸課題を調査・立案・遂行・評価プロセスを通して科学的に実証・解決する。</p> <p>達成目標： 情報収集システム、実験システム、処理システム、評価システムの設計、製作、試行、評価を経験することによって、自立した研究者となるための高度な実践的技術力を身につける。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【教科書等】</b>
指導教員の指示に従うこと。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>指導教員の指示に従う。典型的には自らが推進する研究テーマに内在する諸問題を実験的に解決する方法を考案し、具体化すると共に、結果の評価について実践と討論を行う。さらに、学外の学・研究会で発表・討論し研究テーマ解決への合理的進捗を図る。</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

自らが課題としたテーマに関する実験成果を報告書としてまとめるとともに、得られた成果を学内外の学会において発表・討論する過程を通して、その成果の価値に関する総合的な評価を受ける。

### 【オフィスアワー：授業相談】

指導教員の指示に従うこと。

### 【学生へのメッセージ】

先行研究の理解から自らの独創的研究へと立場を発展させるための訓練は専門的研究者として自立するための重要な過程です。

### 【その他】